

## 課題 2 - 1 船で房総と江戸を結ぶ

- 1 右図は、江戸の日本橋小網町を描いたものです。千葉県にある地名を探しましょう。なぜ、その地名が江戸の日本橋にあるのでしょうか。



日本橋小網町付近絵図  
「日本橋北神田両国浜町明細絵図」  
1859（安政6）年尾張屋清七板より作成

武家屋敷 ■ 町屋 ■ を表示

- 2 行徳（市川市）と日本橋小網町を結ぶ水運を調べましょう。

- ① 行徳と日本橋小網町を結ぶルートに赤ペンで右の地図に記入しましょう。
- ② 行徳船で運んでいたものは何でしょう。
- ③ 行徳（市川市）の河岸跡に成田山新勝寺に奉納した常夜燈があるのはなぜでしょう。



- ④ 行徳と日本橋小網町を結ぶ水運について分かりやすく説明しましょう。

日本橋小網町と行徳を行き来した船は、24人乗りの「行徳船」と呼ばれ、毎日午前6時から午後6時まで運航していました。左の写真は、市川市行徳の河岸跡に1812（文化9）年に建てられた高さ4.31mの常夜燈です。航海の安全祈願のため、成田山新勝寺に奉納されたものです。

- 3 身近な地域の水運を調べましょう。

- ① 利根川や江戸川などの河川、東京湾や太平洋などの海を利用した地域の水運を、図書室の本やインターネットを活用して調べましょう。
- ② 白地図にルートを記入しましょう。
- ③ 調べた内容を、「イラスト」や「四コマ漫画」など工夫してまとめ、みんなに分かりやすく発表しましょう。

- 4 江戸時代の水運の役割をまとめましょう。